

令和5年第6回置戸町議会臨時会

令和5年7月20日（木曜日）

○議事日程

- 日程第 1 会議録署名議員の指名  
（諸般の報告）  
日程第 2 会期の決定  
日程第 3 議案第37号 令和5年度置戸町一般会計補正予算（第3号）  
日程第 4 報告第 6号 専決処分の報告について

○会議に付した事件

- 日程第 1 会議録署名議員の指名  
（諸般の報告）  
日程第 2 会期の決定  
日程第 3 議案第37号 令和5年度置戸町一般会計補正予算（第3号）  
日程第 6 専決処分の報告について

○出席議員（8名）

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1番 嘉藤 均 議員  | 2番 前田 篤 議員  |
| 3番 石井 伸二 議員 | 4番 石村 吉博 議員 |
| 5番 柏原 勝 議員  | 6番 山田 耕平 議員 |
| 7番 阿部 光久 議員 | 8番 岩藤 孝一 議員 |

○欠席議員（なし）

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

《町長部局》

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 町長 深川 正美       | 副町長 蓑島 賢治    |
| 企画財政課長 坂森 誠二   | 総務課長 鈴木 伸哉   |
| 産業振興課長 五十嵐 勝昭  | 施設整備課長 名和 祐一 |
| 企画財政課長補佐 高橋 秀典 |              |

《教育委員会部局》

- |          |              |
|----------|--------------|
| 教育長 平野 毅 | 社会教育課長 須貝 智晴 |
|----------|--------------|

《監査委員部局》

- 代表監査委員 小鷹 浩昭

○職務のため出席した事務局職員の職氏名

事務局長 今西美紀子

臨時事務職員 中田美紀

議 事 係 加 藤 洋 聖

◎開会宣言

○岩藤議長 ただいまから、令和5年第6回置戸町議会臨時会を開会します。

---

◎開議宣言

○岩藤議長 これから、本日の会議を開きます。

---

◎日程第1 会議録署名議員の指名

○岩藤議長 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、置戸町議会会議規則第122条の規定によって、5番 柏原勝議員及び6番 山田耕平議員を指名します。

---

◎諸般の報告

○岩藤議長 これから、諸般の報告をします。

事務局長から報告させます。

事務局長。

○今西事務局長 今期臨時会に町長から提出された議案は、次のとおりです。

・議案第37号。

今期臨時会に議会から提出された事件は、次のとおりです。

・報告第6号。

今期臨時会に議案等説明のため出席を求めた者及び委任を受けて出席する者は、お手元に配付した名簿のとおりですが、本日、菅原会計管理者は都合により欠席となります。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

報告を終わります。

○岩藤議長 これで諸般の報告を終わります。

---

◎日程第2 会期の決定

○岩藤議長 日程第2、会期の決定を議題にします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日1日としたいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」と発言する者あり)

○岩藤議長 異議なしと認めます。

したがって会期は、本日1日と決定しました。

---

◎日程第3 議案第37号 平成5年度置戸町一般会計補正予算(第3号)

○岩藤議長 日程第3、議案第37号 令和5年度置戸町一般会計補正予算(第3号)を

議題とします。

○岩藤議長 本案に対し提案理由の説明を求めます。

町長。

○深川町長 ただいま議題となりました、議案第37号 令和5年度置戸町一般会計補正予算につきましては、企画財政課長より説明を申し上げます。

○岩藤議長 企画財政課長。

○坂森企画財政課長 議案第37号について説明をいたします。

議案第37号 令和5年度置戸町一般会計補正予算（第3号）

令和5年度置戸町の一般会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,558万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ47億7,713万1,000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

第1表、歳入歳出予算補正につきましては、令和5年度置戸町一般会計補正予算事項別明細書（第3号）により説明をいたしますので、事項別明細書の6ページ、7ページをお開きください。歳出から説明をいたします。

（以下、記載省略。令和5年度置戸町一般会計補正予算事項別明細書（第3号）、別添のとおり）

○岩藤議長 これで、議案第37号の提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

議案第37号 令和5年度置戸町一般会計補正予算（第3号）。

第1条 歳入歳出予算の補正は別冊事項別明細書（第3号）、6ページ、7ページ、歳出から進めます。

3. 歳出。6款農林水産業費、1項農業費、2項林業費。7款商工費。8款土木費、2項道路橋梁費。

次のページ、8ページ、9ページ。

10款教育費、4項社会教育費。

質疑はありませんか。

1番 嘉藤議員。

○1番 嘉藤議員 農業費ということで、上段に負担金補助及び交付金ということで、18節で80万円、今回、洗浄機ということで挙げられておりますけども、もっと早くにこれ導入すべきでなかったかなという思いもありますし、また今後きっと種芋農家を守るというかそういう意味合いでも、まだまだ必要な費用がこれからも出てくるのかなというふうに考えますけども、その辺の今後のいろんな経費が出てくるとは思いますけど、その辺に対する支援対策協議会と言いますか、町の考えをお聞きしたいと思います。

○岩藤議長 産業振興課長。

○五十嵐産業振興課長 ジャガイモシストセンチュウに関する支援の考え方というご質問かと思えます。今回、補正で挙げさせていただきました補助金につきましては、きたみらい農業協同組合を中心に、北見市、訓子府を含めまして1市2町の中でそれぞれ支援策を考えながら共通認識のもとで今回このような方策を取らせていただきました。この他の作物も含めましてですね、嘉藤議員がおっしゃるように、いろいろ考えられることはあるんですが、現段階におきましては、全体で行う支援対策としては、まずは、何て言いましょう、共同利用の小麦コンバインの全町移動に対するものを、行政、JA含めて支援をしましょうという考え方で今進めております。その他の作物等々につきましてはですね、現段階では、それぞれの農家さんの方で対応していただくという考え方をJAの方では基本に持っているというふう聞いておりますが、それ以外の部分でまた今後出来てきた時には、都度都度協議という形になるかと思っております。

○岩藤議長 1番。

○1番 嘉藤議員 有難うございます。JAと連携しながら町としても今後進めていっていただきたいというふうをお願いをいたします。

○岩藤議長 産業振興課長。

○五十嵐産業振興課長 またいろんなことが出てくるかと思えますので、都度都度情報交換、情報共有をしながら検討策を考えていきたいというふうに思っております。

○岩藤議長 ほかに質疑はありませんか。

5番 柏原勝議員。

○5番 柏原議員 置戸町買い物利便性向上支援事業についてお伺いいたします。先般、この説明は受けたつもりですけども、この消費税込み5,500万という高額な金額です。これの見積もりはどのような形で出したのか。それとも、多分ホクレン商事さんの方からだと思うんですけども、やはり出す側としての見積もりも、何て言うんですか、収集したのかどうか、そこら辺についてお伺いしたいと思います。

○岩藤議長 産業振興課長。

○五十嵐産業振興課長 買い物利便性向上支援事業補助金の関係につきましてのご質問です。この金額につきましての見積もりにつきましては、ホクレン商事さんの方から頂戴しているところでございます。その内容と言いますか相手先につきましては、あくまでもAコープおけと店が日常的に利用している、こちらの管内と言いますか、こちらの精通している会社の方からですね、いただいているものを参考としまして私共の方にもいただいているところでございます。

○岩藤議長 5番。

○5番 柏原議員 こういう商店と言うかな、補助することは、買い物、置戸町民の買い物に対する部分については、重要なことだと思います。ただ、これが町内で前例となりますので、今後そういう課題と言うのかな、出てくると思うんですよ。これについて、この先のことも踏まえてどう判断しているのか、お伺いをしたいと思います。

○岩藤議長 産業振興課長。

○五十嵐産業振興課長 ただ今のご質問ですが、今回、町内にあります、小売業等ということで括らせていただきましたが、商工会の何て言いましょ、名簿上、小売業登録と、それに付随する店舗、具体的には5店舗を対象ということで、器具・備品の設備、整備につままして補助金で支援をするという形を計上させていただいております。それぞれこの、何と言いましょ、各店舗におきまして新たに店を構えたり、それから、改修をしている中で、かなりの年数が経ってきているというところは、私共も把握をしているつもりでございますが、今後の考え方につきましては、この補助金の内容に合致するものであればですね、それ必要に応じてまた皆さんの方にお諮りをさせていただきたいというふうに基本的には考えておりますし、それ以外の部分についても何かあれば、また相談をいただいた上でですね、検討、協議をさせていただきたいなというふうに現段階では考えているところであります。

○岩藤議長 5番。

○5番 柏原議員 置戸町民、スーパーと言うか小売業の数が段々減ってきているということで、本当にこれは重要な課題だと思います。今後ともいろんな方策で町民のために動いていただきたいなと思います。よろしく願いいたします。

○岩藤議長 ほかに質疑はありませんか。

6番 山田議員。

○6番 山田議員 今回、今のAコープの置戸町買い物利便性向上支援事業補助金に関してなんですが、何故この今7月の議会、この臨時議会で急いで議案として挙げる必要があったのかというところを今一度説明をお願いしたいと思います。

○岩藤議長 産業振興課長。

○五十嵐産業振興課長 Aコープさんの方からですね、一番最初に相談と言うかお話があったのが、昨年8月に一番最初に故障してますよということで、その後に報告を受けているところでございます。この間、いろいろホクレン商事、それから、大家さんであります、上屋の大家さんであります、JAきたみらいさん、それから、町の方とですね、いろいろ協議を重ねながら進めてきているところであります。今年の2月に議員協議会の方で、この支援に関する部分の考え方をご説明させていただきまして、年度が替わった当初に進めさせていただこうかなというふうに考えていたところでございます。何故かと言いますと、仮に、発注をした段階から工期が、工事が完了するまでに3か月程度を要するというので、これは最初から聞いていたところではあるんですけども、なかなか資材等々の高騰ですとか、いろんなコロナがまん延していた等々の事を踏まえまして、十分な協議を進めなきゃいけないということで、2月の議員協議会の中でも議員さんから様々なご意見をいただいたところです。それらを調整しながら進めさせていただこうということですと準備を進めてきたところでありますが、この直近に及んでですね、先程申し上げた、資材の高騰の折、かなり30%程度資材費が高騰しているということで、またホクレン商事さんの方からご相談を町長に対して受けたところであります。一方で、急がなきゃなんないということと、それから、十分な協議をしなきゃいけ

ないというところ、それから、工事完了まで3か月を要するとなると、仮に、今7月としましても、向こう側のいろいろ手続き、取締役会等々での了解等も含めましてですね、11月の末から、遅ければ12月の頭になるということで、この後の議会ということになりますと、年をまたいで冬工事に入ってしまったたり、さもすればまた年度が明けてしまうという可能性もあることから、今回、それぞれの関係機関との協議、そして、先般の議員協議会での皆さんに対するご説明を踏まえて、今回の臨時会の中で挙げさせていただいたということでございます。

○岩藤議長 6番。

○6番 山田議員 内容は分かりました。これが7月議会に議案として挙げた理由というのは理解いたしました。その中で、町の一般財源の中、2,500万円という金額、こちらを要綱を用いて補助するという内容ですけども、こちら例えば、補助した後、例えば、ホクレン商事さんが、1年後、2年後に、やはりもう撤退しますよというような話になってしまえば、これはやはり補助をした意味がなくなってしまうのではないかと私は思っております。ですので、こちらの方のそういうような、例えば、町とのホクレン商事さんと契約を結ぶというか約束をするということが、例えば、向こう5年、若しくは10年、今回補助するので残ってもらいますかということをしつかりと確認取れているのかどうかというところを一度ご説明ください。

○岩藤議長 産業振興課長。

○五十嵐産業振興課長 補助した後の部分、ホクレン商事さんとの考えのすり合わせということかと思えます。この間、協議会等々でもその辺のお話もいただいてきているところでありまして、その時からまたお時間が経っておりますので、私共の方としても整理をさせていただいております。以前、当初からですね、その辺を心配しているのは、私共、それから、議員さんも含めまして共通認識であるというのは、私共も理解をしておりますが、まずは第一義的には、商工会への加入ということをお願いできないかというところをお願いしております。これにつきましては、予算の方が確定した段階です、即座に手続きを取って加入の手続きを進めるということで、私共の方の商工会、それから、ホクレン商事さん側、それぞれお話をさせていただいて了解をいただいているところではございます。それから、ラポラポイントという、私共の町です、ポイントの利用を何とか導入してもらえないかという話もさせていただいているところですが、一昨年前ですか、Aコープ独自で、ホクレン独自でエゾカポイントと言うのを導入しております。ホクレンさん側的には、私共のラポラポイントの導入に関しては、前向きに検討していただくというお返事はいただいているんですけども、このエゾカポイントとの、何と言いましょ、調整と言いますか買い手のポイント、それから、売り手のポイントの金額的なものも含めて、今後、継続協議をしていかなきゃならないということで、これについては現段階では、まだ答えが出ていない状況であります。それから、今こんなご時世でありますので、いつ何処で災害が起きるか分からないということで、災害時における、日用品や食料品等の安定供給の協定締結、これにつきまして

もご提案をさせていただいております、これも事務手続き上の話としてこの後進めていける準備は整っているところでございます。問題はですね、山田議員からお話もありました、何か契約書と言いますか確約書的なものの話なんですけども、現実的にはこれを結ぶということには、今のところなっておりません。私共も結びたい考え方としてはあるのですが、仮に、5年、10年と結んでしまっ、締結をしまして、先方の方がかなり赤字が続いてですね、急に撤退をするというお話になった時に、何か盾にするものが欲しいんですけども、結果として止めるすべがないという現実もあります。ただ、そのところは議員さんも大分心配をしているよというお話も先方とさせていただいている中で、先方の方としては、何と言いましよう、きちとした形で結べないまでも、何か補助金の申請等々の中でですね、そういった文言を入れさせていただいたりとか、何か置戸町の皆さんにご理解をいただけるような方法を模索できないかというところで、今お話をいただいているものですから、もう少しその辺どのような形でというのは、詰めさせていただきたいというふうに思っておりますが、何か契約書、確約書的なものというのは、今のところ難しいかなというふうに考えているところであります。

○岩藤議長 6番。

○6番 山田議員 確かに、自治体と企業が契約書を結ぶというのは、非常に難しいというのは、僕も調べて分かってました。ただ、やはり町民のお金を使うという面で、少しでも町民が安心してAコープさんを使っていけるような形を町民に示せれば、僕はいいと思いますので、その辺を少し役場とホクレン商事さんでしっかりと詰めていただいて、例えば、本当に契約書でなくても、しっかりとした約束を得るとかそういうことでやっていただきたいと思います。確かに、Aコープさんがなくなってしまうと、置戸町、一般食料品を買い物する場所がなくなってしまうというのは、懸念する内容でありますので、支援等に関しては、やることに関して必要性はあると思いますので、ただ今後、商工会に加入する等々いろいろな条件等踏まえ、あと、先日、議員協議会で出てきました、要綱の内容ですね、こちらの方をもう少し本来であれば詰めてから今回の議案提出という形で見たかったですけども、それがもう今回、議案提出という形になってしまいましたので、ちょっと要綱内容に関しては、また再度提出していただきまして、こちらの要綱というのはもう既に、前回は議員協議会の時に案という形で出されておりましたが、今回も決定した要綱というのは出来ているのでしょうか。

○岩藤議長 産業振興課長。

○五十嵐産業振興課長 要綱の関係についてのご質問です。山田議員おっしゃったように、協議会の中で要綱の方の案も付けさせていただいてですね、ご説明の方をさせていただきました。これについてもご意見をいただいたところですが、事務手続き上、予算の計上はまだ可決いただけないものですから、あくまでも事務上の案という形で今はある状態でございます。この後、手続きが進めばですね、これを正式に内部決裁の下、案を制定という形になりますが、要綱案なものですから、内部の規則ということで、内部決裁での事務処理という形になってしまいます。そこをご理解いただければと思いま



すが、先般、協議会の中で言われている部分につきましては、もう少し最後は精査をさせていただきますというふうには思っております。

○岩藤議長 6番。

○6番 山田議員 要綱は、これから正式なものになってくるという話ですので、こちらの方は、また要綱が出来た後、確認をさせていただきたいと思えます。Aコープに関しては、私からは以上なんですけど、あともう一件、有害鳥獣駆除に関する経費については、私からは以上なんですけど、400頭から550頭に修正するという形で、今回、委託料の方を増額していると思うんですけども、昨年度、私が聞いた中では、700頭以上鹿が捕れているという話を猟友会の方から聞いております。600でしたか、7000って聞いたんですけど、600と聞いております。その中で、550頭なんですけど、昨年を上回るペースで今獲れているという話でございまして、こちらに関しては、多分このままいきますと、昨年度の数量を超えてくると、頭数を超えてくると思われるんですけど、その辺に関しましては、また更に、その時にこのような委託料の増額というものを、また議会で諮っていくという形でよろしいですか。それとも、それも見越した中で、本来では、もう少し増やすべきであると思うんですけども、どのようにお考えでしょうか。

○岩藤議長 産業振興課長。

○五十嵐産業振興課長 ただ今の有害鳥獣駆除に要する経費の部分でございまして。頭数の部分ですね、申し上げさせていただきますと、一つには、考え方として、委託料の部分と報償費の部分と2つ分けて考えております。それは何故かと言いますとですね、まず、報償費の報奨金の方でございまして、昨年、令和4年度のこちらの実績、609頭になります。今ですね、4月、5月、6月の段階で既に昨年度を大きく上回っている。このまんま昨年同様、7月以降、12月までの間に獲れたとしたら、私共の予想では、約700頭ということで、昨年より約100頭増える見込みでございまして。ここの報奨金につきましては、昨年500頭で当初予算計上してございまして、途中で2回補正予算を計上させていただいております。これにつきましては、今回、一発で最終見込みまで含めて予算を計上させていただいているという状況ではありますけど、あくまでも予測ですので、これ以上に出た時には、またその時には皆さんの方にご提示させていただきたいというふうには考えております。それから、委託料の方ですが、こちらが令和4年度実績は、456頭。これが令和5年度の見込みでいきますと、約550頭ということで、現実的には100頭ぐらい、こちらが増える予測です。予算上でいきますと、こちらは400頭であったものを550頭ということで見込んでございまして、こちら最終まで、最終まで何とかこの予算でいきたいなという考えの下、計上させていただいているところでございまして。この委託料550頭と報奨金700頭の差が150頭あるんですけど、これは鹿をハンターの方が直接搬入をしたり、若しくは、別な形で処理をしたりということがありますので、委託料の方は持ち込みの委託料の方については、150頭分をマイナスさせていただいているという考えでございまして。

○岩藤議長 6番。

○6番 山田議員 詳しい説明有難うございます。本当に、この鹿の駆除とか猟友会、実は若い人が結構増えて、今年も来月の8月にまた1名猟銃の免許の講習会に行くという話も聞いておりますし、また他にも行きたいという方がおられるので、今後更に、こちらの有害鳥獣駆除等は増えていくのではないかと思いますので、こちらの方に関して随時追っていきながら私の方もチェックしていきたいと思っておりますので、是非よろしくお願ひします。以上です。

○岩藤議長 ほかに質疑はありませんか。

1番 嘉藤議員。

○1番 嘉藤議員 畜産業費ということで、新型コロナウイルス感染症対応に要する経費で、18節、負担金及び補助金の交付金ということで予算が組まれました。今回、第2弾ということでもあります。1市2町足並み揃えてということは聞いておりますけども、多少市町によってお金の出し方だったり、金額だったりも多少違う部分もあると思ひますけども、今後ですね、これは今回は餌の高騰ということでもありますけども、年末に向かつては、肥料の高騰対策等に対する町の補助、或いは、国の補助ということもこれから出て来るのかと思ひますけど、その辺具体的なものが分かっていたらお知らせをいただきたいというふうに思ひます。

○岩藤議長 産業振興課長。

○五十嵐産業振興課長 購入粗飼料等の対策支援ということで、畜産農家等々への支援に関する部分でのご質問でございます。嘉藤議員からもお話がありましてとおり、北見、訓子府、置戸、それぞれがこの支援を取っているところではありますが、それぞれの実情、それから、内情等に応じまして、多少補助の差ですとか、対象の幅と言ひますか、それらには差異があります。今お話があったとおりですね、昨年と、それから、今回と畜産農家等さんに対する部分というのは、支援はさせていただいている、皆さんにご理解をいただいているところでございますが、この間、議員さんの方からもお話があるように、肥料の高騰というのもこの議会の中で幾度となく議論をさせていただいたところでございます。この間、同じお答えをさせていただいているんですが、まだ、国、道の方の策が見えないということで、必要な時にまた必要な形で提案をさせていただきたいというお話をさせていただいているところでございますが、今、少しずつ上の方の考え方が定まってきたところではございますが、まだまだ詳細の部分が見えてございませんので、一応、私ども町としても何らかの支援ということは、今段階では考えております。更に、今年に分から肥料高騰というのが影響受けるということで、実際には、12月の年末のですね、組勘整理の段階でどうなるかというお話になってくるんだと思ひます。なので、出来ればその前には何かの形で皆さんの方にご提案をさせていただきたいというふうに思っておりますし、それまでには、国、道の支援策も明らかになってくるのではないかなというところで今のところ考えているところでございます。現段階で、ちょっと具体的な策というのは、まだ未定ではございますが、考え方としてはその

ような考えでいるところであります。

○岩藤議長 1番。

○1番 嘉藤議員 国、道に合わせてということで、何とかその組勘制度である、12月いっぱい、12月に間に合うように合わせて同時に行っていただきたいというふうにお願いをいたしますし、この農業振興基金の使い方についてもいろいろ議論がされたところでもあります。基幹産業である農業を守るためであれば、私はこの運用については、吝かではないし、農家を1軒でも守るという意味では、このお金を大事に使ってですね、町の基幹産業を守っていただきたいと、そういうふうにお願いをいたします。

○岩藤議長 産業振興課長。

○五十嵐産業振興課長 承知いたしました。ただ今申し上げなかったんですが、この議会の方に提案させていただく前にですね、この振興基金の運用会議というのを開催いたしまして、委員さんの方からもご意見をいただいてきたところでございます。その中でも、嘉藤議員がおっしゃられたような意見も出ておりましたし、今、この農業を守らないでこの先がないということ、私ども行政としましても、承知、理解をしているつもりでございますので、また必要があればですね、この基金の繰出しについては、運用会議の方で諮っていききたいなというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

○岩藤議長 ほかに質疑はありませんか。

4番 石村議員。

○4番 石村議員 先程に関してちょっと話戻っちゃうんですけども、Aコープおけと店からの見積書を我々にも確認させていただきたいんですけども、それは可能でしょうか。

○岩藤議長 産業振興課長。

○五十嵐産業振興課長 見積書を確認させていただきたいということで、ただ今ちょっと手元にはないものですから、その辺の対応含めてお時間をいただければというふうに思います。

○岩藤議長 4番。

○4番 石村議員 後程、資料でもいいので全員にプリントして配っていただければ幸いですので、よろしく願いいたします。また、冷蔵庫等入れ替えに関して工期が3か月ほどかかるということで、その間、Aコープおけと店が閉めなきゃいけないとなった場合、きっと買い物できない方や、お年寄りなんかもきっと困ったりする可能性がかなりあると思うんですが、その辺の対応も含めてAコープさんとの協議などは、これから進めていく予定でしょうか。

○岩藤議長 産業振興課長。

○五十嵐産業振興課長 ただ、今のところですね、店を閉店して、一時閉店をして工事を進めていくという考え方はないというふうに聞いております。冬工事に差し掛かってしまいますと、何と言いましょう、冷凍冷蔵庫から出て来るホースの水の関係とかそういったこともあるので、それが凍れてしまうので、冬工事はできれば避けたいというお話はずっとこの間いただいているんですが、今回は、その前にできれば進めさせていただ

きたいというところで、何と言いましょう、店を開けた状態の中で、なるべくお客さんへの迷惑を最小限に抑えた中で進めていくということで聞いております。

○岩藤議長 4番。

○4番 石村議員 そのように対応していただければ、町民の方々も納得いく形にはなると思うんですが、これからどんどんそういうお店も少なくなっていくと思うので、連携して町の特産品なんかも扱えるような形で連携していただければ、町の発展にも繋がっていくと思うので、その辺の協議も合わせてよろしく願いいたします。

○岩藤議長 産業振興課長。

○五十嵐産業振興課長 ただ今、議論の協議中ではございますが、いろいろと先方、ホクレンさんの方にもですね、皆さんからいただいているご意見等々は、お伝えをさせていただきながら細かい協議の方は進めさせていただきたいなというふうに思っております。

○岩藤議長 副町長。

○葦島副町長 今、見積書の話があったんですけども、今私共の手元にありますのは、あくまでも参考見積、Aコープの方で、Aコープ商事の方で取った参考見積ということでございます。それが、はっきりその金額がこのまま歩くということではなくてですね、今、私共とホクレン商事の方で話しているのはですね、ホクレン商事の事務の手続きに則って、入札又は見積もり、その辺について実施をして欲しいということで今協議をしているところでございますので、その見積もりが全てではないということで、ご理解いただきたいと思えます。

○岩藤議長 4番。

○4番 石村議員 参考見積で今が全てではないということは、5,000万円で足りない場合もあるかもしれない。2,500万円、うちの町が2,500万円出して、例えば、これからそれが足りなくなったから追加してくれって言われたら、追加するとかっていう話も出て来るのでしょうか。

○岩藤議長 副町長。

○葦島副町長 要綱のある程度説明をした時に、上限額ということで決めたと思うんですけども、条件としては、2分の1以内。それと、予算の定める範囲ということでございます。その予算の定める範囲というのが、今回、ご提案している2,500万ということで、ご理解いただければと思えます。

○岩藤議長 4番。

○4番 石村議員 では、2,500万円うちが出して、とりあえず5,000万円の内でAコープさんは今回の事業を、冷蔵庫を入れ替えたりとか、室外機、ここに書いてあることですか、これを行うということになるということでしょうか。

○岩藤議長 副町長。

○葦島副町長 うちが出せる範囲が2分の1以内で、上限額が2,500万円ということで、見積もり合わせの結果、6,000万、7,000万になったとしても、それは後はホクレン商事の方での手出しになるという考え方でございます。

- 岩藤議長 4番。  
○4番 石村議員 分かりました。有難うございました。  
○岩藤議長 見積書、提出は出来ないということでよろしいですか。直ぐ出ますか。  
しばらく休憩します。10時45分より再開します。

---

休憩 10時27分

再開 10時45分

---

- 岩藤議長 休憩前に引き続き会議を開きます。

議案の質疑を続けます。

〈議案第37号 令和5年度置戸町一般会計補正予算(第3号)〉

- 岩藤議長 議案第37号 令和5年度置戸町一般会計補正予算事項別明細書(第3号)。

歳出。6ページ、7ページ。

7款商工費。商工業振興に要する経費から。

産業振興課長。

- 五十嵐産業振興課長 先程、石村議員の方からお話のありました、見積書の件でございます。ただ今、休憩の間にご用意をさせていただきました皆さんのお手元に配付をさせていただいたところでございます。見積もりをいただいたのは、あくまでもこれホクレン商事さんの参考見積ということで、先程、副町長の方から説明がありましたけども、ご理解のほどをお願いいたします。現実的には、この準備が整えばですね、ホクレン商事さん側の事務手続きに基づいて、入札なり見積合わせなりということで進めていくという形で今のところ私共も聞いているところであります。以上です。

- 岩藤議長 4番。

- 4番 石村議員 有難うございます。見積書確認させていただきました。とりあえず2,500万円をうちが上限として出して、そのホクレン商事さん側で5,000万円よりもかかる場合もあれば、かからない場合もあると。その内、半額をとりあえず予算内で使うということでご理解してよろしいでしょうか。

- 岩藤議長 産業振興課長。

- 五十嵐産業振興課長 その通りでございます。こちらに4,400万というふうにございますが、私の説明では、5,000万という形で説明させていただいているので、600万円の差が出ているかと思えます。これについては、造作工事ということでですね、その部分があるということでご理解をいただきたいのと、ただ今の石村議員のお話のとおり、結果、これより上がっても、町としましては、2,500万円を上限という形ですし、仮に、下がればですね、2分の1以内という要綱案でございますので、2,500万円よりも下がるということで、残りについては、いずれにしましても先方が負担をするということで、ご理解いただければと思えます。

- 岩藤議長 4番。

○4番 石村議員 有難うございます。理解しました。今後、また更にきちんと契約が結ばれて新しく見積もり正式なものが出たとしても、我々に是非開示していただきたいと思しますので、その辺も透明性をよろしくお願いいたします。

○岩藤議長 産業振興課長。

○五十嵐産業振興課長 はい、承知しました。一応、私共としては、補助金の申請という形で事務の方は手続きがされるものですから、そのように進めさせていただきたいというふうに思っておりますが、あくまでも今度本契約と言うか事務手続き上は先方の方でやられるので、ちょっとその辺はこちらの方でも協議をさせていただきたいというふうに思います。

○岩藤議長 ほかに質疑はありませんか。

(「なし」と発言する者あり)

○岩藤議長 なければ、歳入に進みます。

4ページ、5ページ。

3番 石井議員。

○3番 石井議員 ちょっと確認をしておきたいのですが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金。今回、農業費の方の粗飼料等の高騰対策に使われているわけですが、粗飼料の高騰というのが、どうしても新型コロナウイルス感染症と結び付かないという根本的な原因と繋がらないというふうに思うんですが、このコロナウイルスの臨時交付金の使途と言うか用途という部分において、こういったことの使用について何か抵触しないのか。逆に言うと、何でもありなのか。何に使ってもいいのかということの確認をしておきたいと思います。

○岩藤議長 企画財政課長。

○坂森企画財政課長 今般の新型コロナウイルス感染症対応のですね、地方創生臨時交付金につきましては、大きく国からはですね、低所得世帯支援の枠と推奨事業メニューと国がこういった事業に充てるべきという8つのメニューがございます。主にですが、今回、充当させていただきましたのは、推奨事業メニューとされる中で、今般のエネルギー。それから、食料品価格等の物価高騰の影響を受けた、生活者や事業者に対し支援を行う事業とされているものの中で、そのメニューの中に、農林水産業における物価高騰対策支援というのがあります。ですので、今回の充当させていただきました、630万4,000円につきましてはですね、この推奨事業メニューに従いまして、農林水産業、農業の皆様における物価高騰対策支援という形で充当させていただいた次第でございます。

○岩藤議長 ほかに質疑はありませんか。

(「なし」と発言する者あり)

○岩藤議長 なければ、歳入に進みます。

2. 歳入。10款地方交付税。14款国庫支出金、2項国庫補助金。18款繰入金、2項基金繰入金。

質疑はありませんか。

(「なし」と発言する者あり)

○岩藤議長 なければ、歳入歳出を通して質疑漏れはありませんか。

5番 柏原議員。

○5番 柏原議員 先程の商工業の関係ですけども、金額が2,500万ということでしたが、今後、ホクレン商事さんには、これが限度額なのか。仮に、3年後、5年後、大きな改修工事だとかそういうことが含まれた時に、そういう対応というのは、どう考えているのかだけお伺いしたいと思います。よろしくお願いします。

○岩藤議長 産業振興課長。

○五十嵐産業振興課長 今後の考え方というところかと思えます。年数が農協さん、JAさんがですね、合併して以降、Aコープ店舗もかなり年数が経っている。あちこちに不具合が生じているという話は聞いているところではございます。その中でも、今回、この冷凍冷蔵庫が不具合が生じたということで、このような形で皆さんの方にお諮りをさせていただきましたが、今現在はですね、あくまでもこの要綱案に基づく、器具・備品という形での捉えなものですから、それ以外の部分については、現時点では考えていないというところが正直なところでございます。しかし、今後、Aコープさんに限らずですね、先程も申し上げましたとおり、いろんなところからいろいろなお話が出て来るという可能性はあるかというふうに考えておりますので、その辺は随時こう検討協議をしながら進めていくというふうには思っておりますけども、現時点での今後の対応というところでは今のところはないということで、ご理解いただければと思います。

○岩藤議長 5番。

○5番 柏原議員 支出と言うか歳出の部分では、かなりの金額になりますし、今後とも十分協議していただいて、ご検討いただきたいと思えます。よろしく願いいたします。

○岩藤議長 ほかに質疑漏れはありませんか。

(「なし」と発言する者あり)

○岩藤議長 なければ、ここでしばらく休憩します。意見調整を行いたいと思えますので、議員は議案持参の上、議員控室の方へ移動願います。説明員の方はそのまま自席でお待ちください。

---

休憩 10時54分

再開 11時01分

---

○岩藤議長 休憩前に引き続き会議を開きます。

議案第37号について質疑漏れはありませんか。

2番 前田議員。

○2番 前田議員 今回の2,500万円の予算のことに絡みましてね、商工会業者が使う補助事業、美しい商店街補助金制度がありますが、そのリンクと言いますか、これ

が今年度で見直し、次の計画に入ってくるんだと思われま。ここまで大きな金額ではなくても、今の商工業者が同じように、例えば、冷蔵庫。例えば、何かのもの入れ替えるものが必要となるような事態がこれから想定された時に、これからそういう商工業者に50%の補助の考え方に考え直していただくか、それから、一回使ったらこの補助事業は使えないという考え方なのかも知れませんが、その辺を期限を切ってまた使えるようなシステムに構築し直すとか、その辺商工業者も使いやすような形で、その辺補助事業がリンクするような形で、その辺の提案もしていただきたいということで、お願いしたいと思ひます。

○岩藤議長 産業振興課長。

○五十嵐産業振興課長 ただ今の前田議員のお話ですが、現行の美しい商店街補助金というのがございます。それから、未来の起業補助金というのがございます。そして、今回、予算を計上させて、提案させていただいております、買い物利便性向上支援事業補助金ということですね、現在、大きく商工業者に対する補助としましては、今回、可決いただければ3本という形になります。今回の制度設計をするに辺り、この美しい商店街と未来の起業補助金を含めて検討はさせていただいた結果はございます。しかしですね、今、令和3年から、先程議員もおっしゃっていたとおり、令和3年度から2年度に見直しをかけて、令和3、4、5と3年間でまたワンクールを今進めている最中でありまして、次の見直しと言ひますかそれが令和6年度スタートなので、今年度中にその辺を、どういふ答えを出すにせよ見直しをかけるということになってござひますので、現行の補助金の部分でも一度使っている方からですね、いろいろまた不具合が生じたというお話も私共の方にも届いている部分もありますし、年数縛りというところが現状どうなのかということもござひますので、その辺はいろいろご意見を聞かせていただきながら、少し内部でも揉んでいきたいなというふうには考えているところござひます。現時点では、どうのこうのという話までは至っておらないということをご理解いただきながらですね、今後進めていく中で議員がおっしゃった分も参考にさせていただきたいなというふうにお思ひしております。

○岩藤議長 ほかに質疑はありますか。

(「なし」と発言する者あり)

○岩藤議長 なければ、これで質疑を終わります。

これから、議案第37号 令和5年度置戸町一般会計補正予算(第3号)について討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と発言する者あり)

○岩藤議長 討論なしと認めます。

これで、討論を終わります。

これから、議案第37号 令和5年度置戸町一般会計補正予算(第3号)を採決します。



議案第37号については、原案のとおり決定することに賛成の議員は起立願います。  
(賛成者起立)

○岩藤議長 起立多数です。

したがって、議案第37号 令和5年度置戸町一般会計補正予算(第3号)については、原案のとおり可決されました。

---

◎日程第4 報告第6号 専決処分の報告について

○岩藤議長 日程第4 報告第6号 専決処分の報告についてを議題とします。

事務局長から報告させます。

事務局長。

○今西事務局長 報告第6号について申し上げます。

地方自治法第180条第1項の規定に基づく、議会の委任による専決処分について、同条第2項の規定により、お手元に配付のとおり処分の報告がありました。

報告を終わります。

○岩藤議長 報告に対し質疑を許します。

質疑はありませんか。

(「なし」と発言する者あり)

○岩藤議長 質疑なしと認め、これで報告済とします。

---

◎閉会宣言

○岩藤議長 これで、本日の日程は全部終了しました。

会議を閉じます。

令和5年第6回置戸町議会臨時会を閉会します。

閉会 午前11時07分